

# 令和4年度における市民総合体育館・体育施設の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 スポーツ・文化財振興課

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

評価委員会開催日：令和5年9月20日

## 1 指定管理者

指定管理者	四條畷市スポーツ commons
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
施設概要	誰もが生涯のそれぞれの段階において、生きがいや健康づくりなどの目的をもって、気軽にスポーツを楽しめる施設を提供するとともに、生涯スポーツの普及、啓発及び競技スポーツの振興を図ることを目的とする。
指定管理料	39,215,000円(令和4年度、税込み)

## 2 管理運営の内容

項 目	令和4年度の状況
運営状況	<p>(1)平等利用の確保</p> <p>①毎月第1日曜日に予約希望者にご来館いただき、翌々月利用の抽選会を実施し、施設利用の公平公正等の利用の確保に努めた。</p> <p>②一般開放日利用の公平性を図るため、広報誌及びホームページに予約開始日を掲載し、事前予約を開始した。</p> <p>③高齢者の利用援助の目的で、1階男子トイレ及び女子トイレに温水洗浄便座を設置した。</p> <p>(2)自主事業の展開</p> <p>①プロリーグや各種スポーツ団体と強いネットワークを持ち、話題性が高く、集客も見込めるイベントを誘致した。(日本ハンドボールリーグ大会、FILA CUP テニス大会等)。</p> <p>②就園前の子ども及び保護者に、思い切り身体を動かして、友達と一緒に楽しく運動する機会を提供し、運動を始めるきっかけづくりや新しい出会いを提供できるコミュニティーとして親子ふれあいフェスティバルを実施した。</p> <p>③体育館利用者の半数を占めている卓球競技のレベルアップを目的とし、名指導者による卓球集中教室を新設した。</p> <p>(3)施設の情報提供</p> <p>①ホームページ以外に、公式LINE ページを前年度に開設し、リアルタイムで利用者、市民団体及び教室参加者とコミュニケーションを図った。</p> <p>②ホームページについては、教室の情報や新型コロナウイルス感染症に係る利用内容の変更等、月2回以上更新した。</p> <p>(4)安全確保対策</p> <p>①職員の館内巡回による目視点検を毎日7回実施しており、照明器具、除菌剤、汚れ、清掃の点検項目を実施した。また、トレーニングマシンは、トレーニングルームの担当者が、毎日7回の点検を実施した。</p> <p>②グローブシップ株式会社が定期的に各現場の調査や検査を実施し、維持管理の品質向上に努めた。</p> <p>(5)保守点検</p> <p>①年間整備計画を策定し、保守点検を実施、不具合箇所の調査を行い、修繕計画の提出を行った。</p> <p>②老朽化が進んでいる機器を整備し、緊急性のあるものについては、担当課と協議し修繕及び整備に努めた。</p>

<p>維持管理状況</p>	<p><b>(6)清掃業務</b>  ①清掃専任スタッフがシフト制で朝に3名で3時間、午後に1名で3時間を毎日実施し、運営スタッフが1日3回巡回時に確認し、汚れている箇所の清掃を実施した。  ②屋外体育施設については、6～7月に専門業者による除草及び植栽を実施。加えて運営スタッフによる除草、植栽を月6～8日程度実施し、グラウンド整備については、グラウンドレーキによる整備を月1回程度実施した。また、雨天によるグラウンド不良にも随時対応した。</p> <p><b>(7)警備業務</b>  ①運営スタッフが1日に3回巡回し、不審者や危険の有無を確認している。また、館内モニターについては録画のできる防犯カメラ4台（令和3年度購入）を発生事案等に応じて対策を講じ、監視体制を強化した。  ②夜間については、機械警備業者と契約し24時間体制の警備を実施した。</p> <p><b>(8)環境への配慮</b>  ①優先順位を設けて、順次照明のLED化の推進を実施。現時点では、利用頻度の高い「駐車場から入口までの通路」「入口周辺」「エントランスホール」のLED化を完了した。  ②メインアリーナ、多目的室、選手控室1及び2の各箇所に寒暖計を設置した。冷房設定の基準「28℃」のPOPを掲示し、省エネの推進及び環境保全の推進を実施した。</p>
<p>利用状況</p>	<p>市民総合体育館利用の団体（自主事業を含む）での利用状況については下記のとおり。  ①メインアリーナの利用者は、昨年度から8,124人増加して51,438人となった。  ②多目的室の利用者は、昨年度から5,038人増加して17,548人となった。  ③ルナ・ホールの利用者は、昨年度から998人増加して2,013人となった。  市民総合体育館の個人(共用人数)での利用状況については下記のとおり。  ①メインアリーナの利用者は、昨年度から522人増加して974人となった。  ②多目的室の利用者は、昨年度から214人増加して357人となった。  ③トレーニングルームの利用者は、昨年度から6,655人増加して20,067人となった。  屋外体育施設の利用状況については下記のとおり。  ①市民グラウンドの利用者は、昨年度から2,600人増加して13,230人となった。  ②市民グラウンドテニスコートの利用者は、昨年度から212人減少して3,312人となった。  ③青少年コミュニティー運動広場の利用者は、昨年度から1,533人増加して10,802人となった。  ④水みらいセンターテニスコートの利用者は、昨年度から3,844人増加して21,359人となった。</p>
<p>収支状況</p>	<p>収入合計：73,003,516円  支出合計：80,012,367円  使用料については、前年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館及び時短があり単純な対比は難しいが、対前年度比で収入1,612,660円増、支出2,860,814円増となった。エネルギー価格の高騰に対する補填として、市から3,226,000円充当したが、最終的な収支は7,008,851円の赤字となった。</p>

### 3 利用者へのアンケート調査

項 目	令和4年度の状況
調査の実施内容	調査機関：令和4年4月1日～令和5年3月31日 対 象：市民総合体育館 利用者 回 答 数：110件
調査の結果	10代から80代以上と幅広い年代、時間、利用目的等、さまざまな利用者から意見を聞くことができた。回答の約76%が女性からの回答であり、約76%が市内住民からの回答であった。また、利用時間帯については、午前が約30%、午後が約54%、夕方が約17%、夜間が約21%と、午後以降に利用している方からの意見が多く見受けられた。
主な苦情・意見等とその対応	①稀に、ダンベル、マシン、ベンチの複数を同時に使用している利用者を見かける。人が少ない時ならいいが・・・待っている人がいるというのを理解してもらえよう注意をうながして欲しい。 対応：マニュアルを作成し対応しているが、利用者が不快な思いをされないよう、日々の引継ぎ時や研修会の際に利用ルールを再確認し、利用者にも声掛けやPOP等で周知している。 ②卓球台の点検を1台ずつ、やってほしいです。折りたたんだ時に2枚を閉じるフックが不具合で準備している途中で開かないか、開いて倒れないか・・・キケンだと思いますのでよろしくお願いします。 対応：年1回、保守点検を業者に依頼し運営しているが、体育館スタッフでも定期的に点検しており、不具合や危険性がある場合には随時修繕や交換を行っている。 ③大東市のように多様な教室を実施してほしい。 対応：大東市も含めて他市体育施設の教室を参考に、検討していく。 ④個人レッスンが価格が安くて気軽に来れますようにPRが欲しいです！ 対応：ホームページやLINE等のSNSを使用し、施設の情報を発信していくよう検討していく。

### 4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5	●4	○3	○2	○1
講 評	<p>今年度が、指定管理者として2年めであった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による臨時休館及び時短営業対応はなかったものの、前年度に引き続き感染症対策を講じて安全な運営を行えた。また、スポーツフェスティバル2022～第66回市民体育祭～では、委託先として企画及び運営に携わり、イベントの成功に寄与した。</p> <p>自主事業については、昨年度に引き続き各種スポーツ団体と協力しイベントを開催、加えて昨年度より多くのプロリーグの大会を誘致し、また各種教室の会員をより多く獲得したことにより予算に対して約151%の収入増であったことは評価できる。</p> <p>昨年度指摘事項として挙がっていた「体育団体との連携」については、利用団体や各連盟及び部会とのコミュニケーション強化に努め、施設利用向上等につなげることができている。</p> <p>施設の修繕、整備については、令和3年度に令和4年度分も実施していたため、令和3年度対比では少ないものの、市民総合体育館及び屋外体育施設の修繕にも迅速に対応し、36件の修繕を行った。また、屋外体育施設の草刈り及び樹木伐採等の意見に対しては、迅速に対応し問題解決を行い、未然に防ぐため事前に対応した点は特に評価すべきところである。さらに、市民総合体育館エントランスに設置しているデジタルサイネージは、当日の利用状況が案内されており、一目で空き状況の把握ができるため大変わかりやすい。今後は施設の利用状況のみではなく、イベント情報を流す等の工夫を期待する。</p>				

<p>収支状況について、収入は自主事業において教室会員等の増加により当初予算を上回っていたが、支出において教室講師料が当初予算を上回った。この点については、次年度以降改善すべき点として挙げられる。また、最終的な収支状況が赤字であった一番の理由は、エネルギー価格の高騰等により、電気及びガス料金の著しい値上げが生じたためである。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るため努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>
---

(参考)評価の基準

- 5 計画内容を上回る(非常に満足できる)結果
- 4 計画内容をやや上回る(満足できる)結果
- 3 計画内容どおりの(妥当と判断する)結果
- 2 計画内容をやや下回る(不満が残る)結果
- 1 計画内容を下回る(非常に不満が残る)結果